

新しい時代の幕開け

平成31年を迎え、会員各位の本年のご健勝をお祈り申し上げます。

さて、あと4か月で平成時代が終わり、新元号の新しい時代が始まります。

平成時代はバブル崩壊、デフレからの脱却に苦勞しつつ成熟社会の在り方を模索した時代でした。地震、台風、豪雨などの災害でも大きな犠牲を出しながら懸命に生きてきた日々でもありました。

今年は、新しい時代を迎えて、この機会に2020年代、30年代への長期的視野をもって今後の戦略を考えるべき時だと思えます。

海外では、自由主義、民主主義の模範であった先進国が軒並み、分断と格差に揺さぶられ、一方で独裁的専制政治の国が増え、民主主義、資本主義が危うい状況です。幸いその中で、日本は先進国で一番平和で安定している国と言えるでしょう。

自国第一主義のわがままが横行する中、日本は多様な文化の共生を掲げ、自らも、他者も共存する道を探らなければなりません。少子高齢化など諸課題を乗り越えすべての人が幸せを感じる社会にするための叡智が求められています。いま世界的に、それぞれの地域の風土に根差した伝統や文化に対する関心が高まっており、人々を引き付ける新たな魅力になっています。その流れの中で小さくてもキラリと光る里山ビジネスの成功例も報告されています。これからはIOTやAIによる第4次産業革命が起こることは必至ですが、うまくこれを使いこなしてチャンスを広げたいものです。

桜井市では、これまで取り組んできた一連のまちづくりが今年は大きく具体的に進みそうです。桜井駅周辺や大神神社参道、長谷寺門前町、大福駅周辺整備、纏向遺跡などの活性化に期待が高まります。

今年は統一地方選挙やG20開催、参院選など国の行方にかかわる重要なイベントが続く年でもあります。うるわしの桜井をつくる会の各位の一層のご活躍と、住みよい街へ、まちづくりのため、引き続きご協力とご尽力をお願いする次第です。